

○事業所名	横浜市西部地域療育センター（児童発達支援センター）			
○保護者評価実施期間	令和7年11月17日		～	令和7年12月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	82	(回答者数)	62
○従業者評価実施期間	令和7年11月17日		～	令和7年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月27日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちに分かりやすい環境づくりを行うとともに、プログラムに関しても混乱しない範囲で新しいものを取り入れながら工夫して実施している。	個々の評価を担当や多職種とともに行い、子どもが自分で理解できるための構造化を常に検討し、新たなプログラム設定も、子どもの発達の変化に合わせた内容で実施している。	分かるものや出来ることだけに留まらず、個々の評価をもとに次の理解につながる内容を検討し、新たなプログラムの展開を心がけていく。
2	限られたスペースでの対応の中、活動で分けたり、動線を工夫してなるべく狭く感じないようにしている。	行動動線やクラス設定は常にシンプルで分かりやすい環境設定を心がけている。特に家庭内でも汎化しやすい設定づくりを意識し、限られた空間を有効に使えるよう検討している。	子どもがより自律的に活動が取り組めるよう、常に環境調整は心がける。また子どもたち同士が安心して過ごせるよう、人の配置・ボランティアの採用、物理的環境の構造化などを踏まえて、環境を整えていく。
3	センターでは、各課に専門職を配置し、多職種で連携して子どもの支援にあたっている。	心理士や作業療法士などがクラスの支援に入り、子どもの状態像や発達に合わせた支援の方法について、カンファで共有している。それにより、一定の方法だけでなく支援の手段が取り入れられている。	カンファの開催は個別支援計画書に基づいて行っているが、随時子どもの変化に伴った対応ができるよう、評価時期以外にもクラスに入って子どもの状態像を共有してもらえよう、依頼をかけていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団指導室や園庭等で複数クラスが一緒に利用する場面ではスペース的に物足りないこともある。	安心安全にフリーの時間が過ごせるように、遊戯室など人数や時間の管理を行っている。結果クラスで過ごす時間が増えることで、子どもたちの遊びが限られた内容になりやすい状況がある。	引き続き安全な環境を保つために、過ごし場所管理を行っていく一方で、1日の流れの見直しや遊び時間のタイミング、またクラス間でのおもちゃ交換会の回数を見直すなど、子どもの過ごしがより充実できるよう検討を行う。
2	親子登園により日常的にコミュニケーションは取っているものの、ホームページやSNSを活用した情報発信については、まだまだ不十分であり、魅力ある情報をタイムリーに届けられていない。（利用者が見る動機付けがない）	視覚的に提供できる内容に関しては掲示などを心がけているが、SNSなどが十分に取り入れられていないため、情報発信について不十分さはある。	情報発信の仕方について、西部地域療育センター全体の課題として検討し、保護者によりスムーズに情報が共有ができるよう検討する。
3	保育所・幼稚園との交流や他の事業所との連携、きょうだい向けのイベントについては、人員体制の問題等により十分にできておらず、プログラムの工夫が必要。	今年度は児童発達支援施設との情報交換会を行った。しかしながら人員体制の不足や地域施設との情報共有が不足しているため、発展的な取り組みが行えていない現状がある。	児童発達支援センター的機能の役割を担うために、地域施設との情報交換を意図的に設定するプログラムを組むことや、人員体制の組み方を工夫し地域ニーズに対応できるよう検討する。

事業所名	横浜市西部地域療育センター (児童発達支援センター)					公表日	令和8年3月26日		
		利用児童数				82名	回収数		62名
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	53	9	0	0	・教室や遊びのお部屋など、人数によっては少し手狭に感じることがある。 ・園庭や集団指導室などは人数が多くなると危険を感じることもある。	お子さんの過ごしに安全性を確保するため環境調整を行っています。特に行事や必要性の高いクラスにおいては、必要に応じて人的配置を検討しています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	55	7	0	0	・少ないと感じる時があります。 ・困った時もすぐに助けてもらえています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	58	3	0	1	・部屋のカードがしっかりリンクしているので理解しやすそうです。 ・見通しなどしっかりと貼り出されている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	52	10	0	0	・子供達の手の届くところはしっかり清掃が行き届いていると思います。 ・時々床のゴミが気になる。		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	61	1	0	0	食事も色々工夫していただいています。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	59	0	0	3	「公表されている支援プログラム」がどれのことかわからない。	支援プログラム内容に関しては、親子日の懇談や月のお知らせなどで示しています。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	62	0	0	0			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	57	3	0	2			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	60	1	0	1			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	58	4	0	0	・子ども達がプログラム内容を理解し、楽しめるようになった頃に次のものに変わっています。 ・毎回違いすぎても混乱するので、同じものがあるのもよいです。		
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	31	7	13	11	個人としてはあるが、プログラムとしては今のところない。	地域の保育園との交流を、週5クラスでは訪問や来所を年間4回程度行っています。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	60	1	0	1			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	61	1	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	62	0	0	0			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	60	1	0	1	・幼稚園の様子も毎回確認してくれています。 ・いつも通園日以外の生活の様子についても聞いてくれている。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	62	0	0	0			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	62	0	0	0			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	40	10	4	8	・きょうだい向けのイベントは開催されていない。 ・きょうだい向けの行事や、きょうだいで一緒に参加できるような機会があったらいいと思います。	家族参観ではきょうだい児さんが参加できる機会を作っています。しかし回数も少ないため、夏休み期間などで参加できる機会を検討していきます。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	58	2	0	2	直接お話しできないときも、電話ですぐに対応してもらっています。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	60	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	35	13	2	12	ホームページを見ることがない。親子で登園して様子がわかるので、特に必要性を感じていない。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	59	1	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	59	2	0	1	説明を受けたものもあるし、ない（知らない）ものもある。	避難訓練を毎月行っていますが、緊急時対応については、引き取り訓練などを検討しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	62	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	58	3	0	1	安全は保たれているが、計画の周知はあまりされていない。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	57	1	0	4	そういう状況になったことがありません。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	59	3	0	0	・流れがわかれば分離も嫌がらず、先生を信頼しているのがわかります。 ・親子で通所する時と分離の時とで気持ちが変わってしまうことは仕方がないですが、子ども自身が先生との交流を多く持って信頼感をより強めることで通所への安心感や楽しいな気持ちを高められたらいいと思います。	職員の対応や関わりについて、親子登園時に保護者の方とできるだけ共有ができるよう、職員からコミュニケーションをとるように心がけています。お子さんがより安心して楽しく過ごせるよう、ご家庭の様子も含めながら、情報の共有を図っていききたいと思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	57	4	0	1	楽しく通園しています。ありがとうございます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	59	2	0	1	・大満足です！ ・笑顔の少ない先生が何人かいるのが残念です。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	横浜市西部地域療育センター (児童発達支援センター)		公表日		令和8年3月26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	活動で分けたり、動線を工夫してなるべく狭く感じないようにしている。	重身児が多いと、スペースが足りないと感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	3	児6名に対して担任2名配置は妥当だと思いますが、職員3人いるとできることの幅は広がると感じる時もあります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	8	1		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8	1		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	0		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0			
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1		

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	2		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	2		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	横浜市西部地域療育センター ぴーす鶴ヶ峰（児童発達支援事業所）			
○保護者評価実施期間	令和7年11月18日		～	令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数)	31
○従業者評価実施期間	令和7年11月17日		～	令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月25日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性を考慮し、しっかりと構造化に取り組んでおり、分かりやすい環境となっている。	整理整頓は常に心掛け、こどもたちが取り組みやすいように環境調整をおこなっている。	環境調整は療育において絶対必要な要素と考えており、どの活動においてもこどもたちが安心して過ごせるように継続しておこなっていく。
2	多岐にわたるプログラムを工夫しながら実施し、こどもの意見を取り入れるなど新しい取組も行い、利用児の参加意欲を高める努力をしている。	こどもの興味・関心の高い物、高いことを意識し「やってみたい」を大事にしながらプログラムを組み立てている。興味・関心の高いことを通してこども同士がかかわる機会を設定している。	「共同制作」のように人と一緒に取り組むプログラムや「まち探検」や「料理プログラム」など単発で終わらず準備など連続で取り組むプログラムに取り組んでいく。
3	保護者からの相談対応や講座の実施等を通じて、お子さんの状況についての共通理解や情報提供に積極的に取り組み、保護者支援に力を入れている。	保護者の就労などの関係で登園日以外に参加することが難しい家族の増加に伴い、保護者勉強会などは週1回の登園日におこなうよう設定している。	個別の相談、グループディスカッション、オンラインによる講座など個々のニーズに応じた対応ができるように整えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日常的に2名の担任で運営できているが、状況によって3人体制が望ましい時がある。	人の配置に関しては限界があるがフリー職員の動きなどでカバーできる可能性はある。	運動プログラム時はフリーの職員を通常よりも多く配置するなどプログラムの状況により職員体制を検討していく。
2	保護者同士が自主的に交流はできているものの、プログラムのなものはきょうだい児向けも含め提供できていない。	利用者全員が幼稚園や保育所を利用しており、本事業所においてクラスを超えた交流のニーズをあまり感じていない。	同曜日にてクラスを超えたプログラムを検討していく。
3	保育所や幼稚園等との交流については、お子さんの個々の状況もありなかなか実現できていない。	療育参観や訪問での連携は継続的におこなっており必要性を感じているがお互いの多忙さもあってそれ以上の交流は難しい。	療育センター全体としてオンラインによる講座など検討していく。

事業所名	横浜市西部地域療育センター ぴーす鶴ヶ峰 (児童発達支援事業所)					公表日	令和8年3月26日			
					利用児童数	52名		回収数	39名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	2	0	1	・今よりも受け入れ人数が増えると窮屈だと思うが、現状は問題ないように思う。 ・帰宅時に玄関が少しせまいかな?と感 じる時があります。	2クラス同時の降園にならないように していきます。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	29	2	0	0	良く対応していただいていますが大変そ うで・・・+1配置が理想だと思う。	プログラム内容に応じてフリー職員が対 応できるように検討します。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	0	0	1	個別のマークがある事で順番や待場所 が分かりやすいと思います。	引き続きお子さんが困らないよう支援し ていきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	0	0	0	本やおもちゃ、大人が使う物など場所が 決まっていて分かりやすい。	引き続きお子さんが困らないよう支援し ていきます。		
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	31	0	0	0	「はい」である一方で、個別では集団活 動なので、特性に応じた支援を享受する ことに限界があると感じる。	できる限りにはなりますが集団におい ても個々のニーズに応じた支援をしてい きます。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	31	0	0	0				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	31	0	0	0	親として気付いていない特性など詳しく 書いていてとてもうれしいです。	面談でやりとりさせていただきながら保 護者と共に作成していきたいと考えてい ます。		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	2	0	0	本人・家族など別々の支援内容がある事 でとても分かりやすいです。	引き続き対応していきます。		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	1	0	0	支援計画の中で得意・不得意などにそつ た支援が行われていると思う。	引き続き対応していきます。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	30	1	0	0	子どもの様子や発言がプログラムに反映 されていてすごく良いと思いました。	引き続き対応していきます。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	18	6	3	4				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	30	1	0	0				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	1	0	0				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	30	1	0	0	夫に家族講座を受けてもらい、お互い理 解が深められて良かった。	引き続き家族参観日や家族講座など土、 日におこないます。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていますか。	31	0	0	0	忙しいところでご迷惑かなと思いつつ、 声をかけると丁寧に対応して頂けます。	いつでも遠慮なくご相談いただけるよう にしていきたいと思っています。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	0	0	0				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	1	0	0	・親子共々、色んな不安な事など親身に なったださっています。 ・親の悩みがあまり伝わってないと感 じる時があった。	組織全体でみなさまのご相談にお応え できるように考えていきます。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	7	4	5	・親同士の会話や話の中で1人じゃない と思えて安心感があります。 ・普段の活動の中で保護者同士で交流で きています。兄弟同士の交流はなかなか ないかも。	兄弟児の交流に関してはみなさまのご要 望の把握から取り組む必要があると考え ています。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	0	1	1	・相談がある時には個別にしっかり時間をとって話し合いが来ています。 ・申し入れをした相談の一部が、まだ実際の支援につながっていない。	ご要望にお応えできないことがないよう、組織全体で定期的に見直せる仕組みを考えていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	4	0	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	1	0	0	しっかり安全確保されている環境で支援が行われています。	環境調整は引き続きおこなっていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	3	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	2	0	0	プログラムも意欲を持って取り組めていくのを楽しみにしています。	安心して通ってきていただけるように引き続きおこなっていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	2	0	0	・お友達の話やこんなことをする！と楽しそうに話をしてくれています。 ・毎週とても楽しみにして課題にもやる気が満ちています。	安心して通ってきていただけるように引き続きおこなっていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	2	0	0	個別の支援がしっかり行われて本人のやる気も出来る事も増えてとても満足しています。	安心して通ってきていただけるように引き続きおこなっていきます。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		横浜市西部地域療育センター びーす鶴ヶ峰（児童発達支援事業所）			公表日	令和8年3月26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0		スペースを考慮すると、6人までが限界だと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2		子どもの状態によっては職員数が足りないと思う時があります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		
業務 改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		情報共有ができるケースとできないケースがあります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)	/	/	/	/
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	/	/	/	/
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	/	/	/	/
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	保育所や認定こども園、幼稚園とは療育参観や訪問を通して連携しています。	保育所や幼稚園等に通っているので事業所として地域のこどもと交流する機会の必要性を感じていない。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	1		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0		

○事業所名	横浜市西部地域療育センター 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達障害児や肢体不自由児の療育経験のある保育士が在籍している。療育センター外の保育所等の環境を評価しながら、児童のニーズに即して、支援を提案することができる。	療育センターに在籍する、中度から重度の知的発達の遅れのある児童と、肢体不自由のある児童全員の支援方針を検討している。また、保育所等訪問支援事業を契約しない方にも、状況に応じたプランを検討している。	保護者の就労や傷病により、療育センターへの頻回な来所が難しい家族に対して、児童の福祉の観点から、より個性の高い適切な保育が受けられるよう、療育センター外での支援ができる保育士の人材育成に努める。
2	保育所等訪問支援事業とは別に、関係機関連携として巡回訪問を実施しており、在園する児童の支援とともに、クラス全体や園全体への支援と連動することができる。	巡回訪問を担当するスタッフと、保育所等訪問支援事業を担当する保育士が密に連絡をとり、園全体の支援と個別の児童の支援が効率的に行えるよう調整している。	地域のニーズをふまえ、比較的重度の児童を保育する保育所の保育士に対し、自施設の見学研修等をおこない、地域全体で保育力の底上げを引き続き行っていく。
3	療育センター内で多職種と連携することで、児童の評価の精度を高め、支援方針を検討することができる。	心理士による発達評価の結果や、理学療法士・作業療法士による姿勢や運動の評価の内容を適宜取り入れている。保護者が養育の主体者となれるよう、保護者と児童の評価や支援内容を共有している。また、療育センター外来利用時に面談時間を設定するなど、多忙な保護者の負担軽減に努めている。	児童のニーズを明らかにし、代弁者として保育所等や保護者と話し合いを重ね、児童の理解を深めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援事業に主に従事する保育士(または、児童指導員)の人材不足。	療育センター内でのサービス提供の人員以外に、関係機関支援ができるような人員体制の予算組がなされていない。通園療育のクラス数とは別に、保育所等訪問支援事業を担う人員の配置が必要。	横浜市こども青少年局との協議、これからの時代の療育センターのあり方について検討する。
2	保育所等に向くときに時間やコストがかかる。	3区を所管するためカバーするエリアが広く、保育所等に向くときに時間やコストがかかる。	交通費の公費補助(公用車、自転車、タクシー、コインパーキング等)
3	複数の業務を行うため、事務作業に追われ、臨床業務の時間が削られたり、振り返りの時間が確保が難しい。	業務によって書式や事務手続きが異なり、煩雑である。	書式の定型化。IT機器の活用、SE事務職員の配置。

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 横浜市西部地域療育センター  
保育所等訪問支援

公表日 令和8年3月26日

利用児童数 8名

回収数 5名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2	0	0	3		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4	0	0	1		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	5	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4	1	0	0		
適切な 支援 の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	5	0	0	0		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	4	0	0	1		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	0	0	1		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2	2	0	1		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	4	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	0	0	0		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	1	0	1		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	1		
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0			

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	5	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	5	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	2	0	1		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	1		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2	1	0	2		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	1	0	1		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	5	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	4	1	0	0	話を聞いてもらったり、普段の悩みなどのアドバイスをもらえて助かる部分はありますが、行ったからすごい出来ることが増えたなど、子供の成長している感はあまり感じない。	丁寧にお話をきくことを心掛けておりますが、肯定的に捉えていただきありがとうございます。お子さんが安心して楽しく園生活を送れるように、できていることや変化を保護者と共有しながら成長を支えています。

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

横浜市西部地域療育センター  
保育所等訪問支援

公表日 令和8年3月26日

訪問先数 7

回答数 6

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	5	1	0	・子どもに合わせた具体的なやり方、関わり方を教えてもらっている。 ・事前予告や切り替え時に視覚（カード）を使うことをアドバイスしていただき、取り入れています。	今後も具体的にわかりやすい助言・説明を心掛けていきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5	1	0	・こちらの質問に専門知識を活かし、的確なアドバイスをいただいている。 ・違う視点を持つことができました。	今後も園の方針を伺いながら、専門性を活かして支援の工夫を考えていけたらと思います。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	6	0	0	・その場や後で時間を作ってください、丁寧に教えていただきました。 ・親身になって下さり、とても相談しやすかったです。	今後も相談しやすい関係を築けるよう努めていきます。質問に対し適時・適切に対応していきたいと思っています。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	6	0	0	・保育園での生活を安心安全に過ごすための助言など私たちの確認、安心材料となっている。 ・難しいケースで困っていることなどもよく聞いてくれました。	今後も情報共有を行いながら、課題や困りごとの軽減をはかり、安心・安全に保育できるよう支援していきたいと思っています。
5	事業所からの支援に満足していますか。	6	0	0	保護者対応にもより丁寧に関わることができ、間に入って頂くことで共有の幅が広がりました。	今後も訪問先施設や保護者と連携していきます。
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>・前年度に引き続き訪問からの支援計画を日々の保育に役立てています。本児の様子からの確かなアドバイスを共有することで少しでも療育センターと保育園が同じような思いで関わり方につながっていったらと思います。</p> <p>・加配がつくとはいえ、集団の中で保育をしていくことに難しさを感じていましたが、保育所等訪問支援にて療育センターの方々に保育園での姿を見ていただき、助言をいただいたことで、新たな支援方法を知ることができました。ありがとうございました。</p>					引き続き、ご家族・訪問先施設と連携しながら、お子さんの安定した生活に向けて支援を行っていききたいと思います。	

事業所名		横浜市西部地域療育センター 保育所等訪問支援		公表日	令和8年3月26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 運営・ 整備	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3	0		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1		・ニーズに対して職員の数は少ないように感じます。 ・人材育成という視点ではもう少し色々な職員が関わるとよい。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1	できるだけ共有が図れるようにミーティング等設定している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1		なかなか振り返る時がない。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0		職員研修は色々機会がありますが、地域支援の資質向上の研修機会は少ないと感じます。
適切な 支援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3	0	関係職種と一緒に作成していった。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	1		共有する仕組みは引き続き検討の必要あり。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	0		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	1		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1	心理評価を受けている場合はその結果を活用したり、肢体の場合はPOTの姿勢や運動の評価を適宜参考にしていった。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3	0		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3	0	肢体系は姿勢や物の設定など必要時、写真を撮り記録した。	
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	1		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	勉強会などのインフォメーションを適宜行った。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。				
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	1		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	2		